

公立高校入試情報 山形県

【社会】

令和6年度山形県入試の全体傾向

- 大問構成，問題数について
- 大問数：地 2， 歴 2， 公 2 の計 6 問（昨年と同じ）
- 小問数：41問（昨年は39問）
- 文章記述問題は 9 問（昨年は 8 問）
- 出題傾向について
- 記述問題を含めて基本知識を問う問題が主なので，基本を定着させておく。
- 地理は統計資料から国や県を判断する問題が出ているので，資料の特徴をつかむ練習が必要。
- 歴史は年代整序や時期を問う出題があるので，歴史の流れを理解することが必要。
歴史の 1 大問は2024年パリオリンピックに関連させたものであった。

■ 活用問題の出題

・例年，資料から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため，資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

・例年，歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため，テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

★山形県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●
		日本の姿	●	●	
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●
		アジア州	●		●
		ヨーロッパ州，アフリカ州	●	●	●
		北アメリカ州，南アメリカ州，オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法		●	
		日本の自然，人口		●	●
		日本の資源・産業，世界との結びつき	●	●	●
		九州地方，中国・四国地方	●	●	●
	歴史的分野	近畿地方，中部地方	●		
		関東地方，東北地方，北海道地方	●		●
		文明のおこりと日本	●		●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	
		近世社会の発展	●		●
		近代ヨーロッパと日本の開国		●	●
	公民的分野	近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
		現代社会と私たちの生活			
		個人の尊重と日本国憲法	●		●
		現代の民主政治，国会	●	●	●
		内閣・裁判所，三権分立	●	●	
		地方自治		●	●
出題形式別の傾向	分野統合	消費生活と流通・生産，市場経済と金融	●	●	●
		財政，国民生活と福祉	●	●	
		地球社会と私たち	●	●	●
		分野統合			
		大問数	6	6	6
		小問数	39	39	41
		記号解答	14	17	18
		用語記述	17	16	15
		文章記述	8	6	8
		作業・作図			